

第7回 嘉麻市嘉穂地域整備協議会（会議要録）

- ◆協議会の名称 第7回嘉麻市嘉穂地域整備協議会
- ◆開催日時 平成29年12月15日（金） 19時00分～20時40分
- ◆開催場所 嘉穂庁舎2階 第1会議室
- ◆公開又は非公開の別 公開
- ◆非公開の理由 （会議を非公開とした理由）
- ◆出席者
（委員）
田中 穆会長 豊福 眸子副会長 大屋 瑞枝 青柳 剛太郎 寺田 秋雄
松村 一弘 安河内 隆 縄田 洋明 縄田 緑 浅田 美千代
榎 悦子
※欠席委員 1人
井原 徹
（事務局）
地域活性推進課 小林 純一 橋垣 康秀 柴田 英樹
山口 宏彰 古道 亮司 大谷 亜季
（関係者）
嘉穂庁舎施設及び大隈小学校跡地利活用専門部会長 石坂 禎久（管財課長）
嘉穂庁舎施設及び大隈小学校跡地利活用専門副部会長 伊藤 喜浩（嘉穂総合窓口課長）
（委託業者）
地域整備基本計画策定業務受託業者 株式会社建設技術研究所
- ◆傍聴人数 0人
- ◆議題及び協議の内容

〔次第〕

1 会長あいさつ

嘉穂地域整備協議会にご出席いただき御礼申し上げます。天候も悪くなることですので、速やかに会議を始めたいと思います。

2 議事

（1）第5回会議録の承認について

※会議録：答申までは情報開示しない。答申後は開示対象資料とする。

※会議要録：協議会で内容の承認後、公開とする。

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

- ・第6回、第7回の会議録（案）と会議要録（案）について説明がありました。

≪主な質疑及び意見等≫

- ・会議録（案）、会議要録（案）についての修正意見は無かったのでこのまま了承とする。

(2) 答申についての意見書について

- ・事務局から資料に基づき説明がありました。

≪主な質疑及び意見等≫

- ・（委員）答申の中に、意見書で出していた商業という言葉が入っていない。嘉穂地域の特性として必要ではないか。
 - ・（会長）方針には主に力を入れる分野について記載すべきではないか。
 - ・（委員）嘉穂地域を観光拠点として位置付けるならば商業も関連しているため文言に入れたほうがよい。
 - ・（委員）地元食材を活用していくなれば商業という言葉が必要だと思う。
 - ・（委員）大隈の中心産業であるため商業という言葉を入れてもらいたい。
 - ・（委員）商業を追加するのであれば、その他附帯意見の中の「農林業等」という文言についても商業を加えるのか。
- ⇒（事務局）答申には商業を加える。附帯意見については農林業等に商業も含んでいるかたちでご了承いただきたい。

- ・（委員）期日前投票については支所で行うが、投票当日は旧大隈小学校の体育館で想定しているのか。
- ⇒（嘉穂総合窓口課長）期日前投票は支所で行い、当日の投票は各地域の投票場で行う予定としている。
- ・（委員）前回の投票は体育館が利用できなかったため、小学校の校舎で投票を行った。体育館と校舎の両方を除去した場合に、当日の投票場所はどこになるのか。支所で行う場合、広さが足りないのではないか。
- ⇒（嘉穂総合窓口課長）今後も当日投票は体育館を利用していくことになると思う。投票場所が変更される場合については協議決定になる。
- ・（会長）今の段階で、投票所に関する具体的なスケジュールは決まっていないため明確な回答はできないのではないか。
 - ・（事務局）期日前投票の部分について、本庁舎だけでなく各地域の支所で期日前投票を確実にできるという意味で記載をしている。当日の投票は大隈小学校の体育館を利用していく方向になるのではないかと思う。

- ・（委員）嘉麻市にある資料館は何ヶ所あるか。
- ⇒（事務局）各地域1ヶ所、大体4ヶ所あると思われる。展示館というよりも収蔵庫の機能に近い。
- ・（委員）人口減少や財政を考慮すると統廃合を行い、1ヶ所で全ての展示物を見ることができるようにしたほうがよい。
 - ・（会長）嘉穂地域が施設縮小・廃止ばかりになるのは、住民としては不満が出る。資料館の設置は意見として出しておくべきではないか。
 - ・（副会長）ふるさと交流館がなくなると聞いている。旧嘉穂町からの資料を収蔵する

ためにも資料館の設置検討は答申に入れるべきではないか。

- ・（委員）観光の観点から酒蔵や城下町などの歴史等の資料館があるとよいのではないか。
 - ・（委員）図書館の職員から備品の購入も難しいという話も聞いている。合併して10年が経ち、ランニングコストも考えると1ヶ所の整った施設にすべて集めたほうがよい。
 - ・（会長）嘉穂の住民として、少しでも嘉穂に残したい。協議会としては資料館の設置の検討をお願いし、行政で判断してもらいたい。
 - ・（副会長）合併前からの一つの懸案でもあったため、資料館の検討という文言は入れてほしい。
 - ・（事務局）行政改革で健全な財政化について議論しているが、協議の中で観光の視点から資料館設置案が出ていたと思うため、しっかり検討をしていきたい。
- ⇒ 採決の結果、賛成多数のため施設設置の検討の文言を残すことにする。

- ・（委員）支所の機能に情報収集伝達機能とあるが、どのような内容か。
- ⇒（事務局）各地域で収集された情報を災害対策本部に集約し、連携する機能を想定している。
- ・（委員）本部に収集された情報を住民に発信する方法はどのように考えているのか。
- ⇒（事務局）本部で災害対策を協議し、防災無線などで住民に知らせる。
- ・（委員）嘉穂分署が旧農協跡にできる。市も消防署と連携しながら情報伝達や災害対応を行っていくのではないか。
 - ・（会長）防災無線だけでなく支所も可能な範囲で対応し、各機関と連携して行動するのではないか。
 - ・（委員）情報伝達によりスムーズな人員要請が必要となる。また、朝倉豪雨でボランティアが嘉麻市に来たが、もっと丁寧な扱いが必要だった。
- ⇒（事務局）貴重な意見として行政に伝達させていただく。

●答申1の内容に商業を追加し、「嘉穂庁舎敷地や旧大隈小学校敷地を有効活用した、商業や農林業、観光、定住促進拠点としてのまちづくりを目指し、様々な手法を模索しながら住みたいまち、住み続けたいまちと思えるような地域整備を行うこと」と修正する。

3 答申

- ・田中会長から市長へ嘉麻市地域整備基本計画（案）等に関する答申について答申が行なわれ、それに対し市長謝辞を述べられました。
- ・田中会長、豊福副会長から嘉麻市嘉穂地域整備協議会委員に対し、各々挨拶がありました。